

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算 支出科目 款：農林水産業費 項：林業費 目：県産材流通対策費

事業名 県産材輸出オンライン商談会開催事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

林政部 県産材流通課 消費対策係 電話番号：058-272-1111 (内 3015)

E-mail：c11545@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 2,500千円 (前年度予算額：2,500千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	2,500	0	0	0	0	0	0	0	2,500
要求額	2,500	0	0	0	0	0	0	0	2,500
決定額	2,500	2,500	0	0	0	0	0	0	0

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

国内の木材需要低下が見込まれる中、平成27年3月に岐阜県産材輸出推進協議会を設立し、韓国や台湾を中心に県産材製品の輸出を拡大するための取組みを行ってきた。その結果、現地での総代理店を獲得し、県産材製品の輸出量は毎年増加を続けている。

しかし、新型コロナウイルス感染症の影響により、海外への渡航が事実上困難な状況が続き、これまで行ってきた海外展示会への出展や商談会の開催等が中止・延期されるなど海外での営業活動が減少している。

このため、オンラインを活用した新たな手法による取組みが必要である。

(2) 事業内容

これまで行ってきた韓国、台湾以外の新たな国において、海外企業と県内企業とのマッチングを行うオンライン商談会を開催する。

開催にあたっては、WEB特設サイトにより県内企業をPRし、海外企業の参加を募る。

(3) 県負担・補助率の考え方

過去に実績のない県産材の海外輸出に取り組む施策であり、県が先導的役割を果たし、事業を展開することが必要

(4) 類似事業の有無

有

海外バイヤーオンライン商談会開催事業費

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	2,500	オンライン商談会運営委託
合計	2,500	

決定額の考え方

財源については、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を充当します。

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

「第3期岐阜県森林づくり基本計画」(H29～R3年度)

国内外への県産材需要拡大プロジェクト 県産材の利用の拡大

「第4期岐阜県森林づくり基本計画」(R4～R8年度)

「都市の木造化・脱炭素社会の実現に向けた県産材需要拡大」の施策に位置づけられている。

(2) 国・他県の状況

類似事業なし

(3) 後年度の財政負担

県産材の輸出拡大に向けて取り組みが新型コロナウイルス感染症対策により、今だ渡航が困難な状況であり、アフターコロナの社会においても、今後は、オンライン上での商談が代理店契約に繋げる一つであることから、アフターコロナの期間は、事業を継続する。

(4) 事業主体及びその妥当性

信頼度が非常に重要となる海外での販路拡大において、行政機関である県の支援は、海外企業と県内企業との商談において有効である。

事業評価調査（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/>	新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/>	継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

- ・ 中国等においてオンラインでの商談会を開催することで、海外への渡航が困難なコロナ社会へ対応していく。
- ・ 国内の木材需要低下が見込まれる中で、R2年に新型コロナウイルス感染症の影響で若干減少したもののR1年度までは、県産材製品の輸出量は増加しており、新型コロナウイルスの影響によって輸出量の減少量が増加しないよう、新たな手法により海外市場へ積極的な働きかけを行い、県産材の輸出拡大を目指す。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R2)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R8)	
					達成率	達成率
① 県産材製品の輸出量（m ³ ）第3期	1,971	2,100 (目標)	2,380			94%
② 県産材製品の輸出量（m ³ ）第4期	1,971	1,971		2,724	4,100	%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 取組内容と成果を記載してください。 <li style="padding-left: 20px;">R3より実施事業
令和3年度	<p style="color: red; margin: 0;">令和5年度当初予算にて追加</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%</p>
令和4年度	<p style="color: red; margin: 0;">令和6年度当初予算にて追加</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・ 事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） <small>3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</small></p>	
(評価)	<p>・ 国内住宅着工戸数の減少等に伴い、国内の木材需要低下が見込まれる中で、県産材の新たな販路を海外に見出す必要性は非常に高い。</p> <p>・ コロナ社会に対応すべく、オンラインという新たな手法による販売促進が求められている。</p>
<p>・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） <small>3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</small></p>	
(評価)	<p>・ 県産材製品輸出量は急増しており、事業展開の成果が上がっている。</p>
<p>・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） <small>2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</small></p>	
(評価)	<p>・ 林産物の品目別輸出団体であり、木材製品の海外の展示会やオンライン商談会などの実績を豊富に有する一般社団法人日本木材輸出振興協会へ運営委託することで、必要最小限の経費で実施することが出来、事業の効率性は確保されている。</p>

(今後の課題)

<p>・ 新型コロナウイルスの影響による渡航困難な状況が、いつまで続くのか不透明である。</p>
--

(次年度の方向性)

<p>・ 今後は、オンライン上での商談が代理店契約に繋げる一つであることからアフターコロナで新型コロナウイルス感染症の発症の前まで戻るまでの期間は、事業を継続する。</p>
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課</p>	【〇〇課】
<p>組み合わせて実施する理由や期待する効果 など</p>	